



Tuverea Tuamoto

船が沈没した時、バードライフの海鳥調査チームはフィジーの孤島を調査していました。

バードライフ ニュースバイト 第9号

2009年4月28日

太平洋の IBA 調査は正に冒険 太平洋の IBA(鳥を指標とする重要自然環境)の保護には危険が付きものです。調査船が暗礁にぶつかって避難していた無人のサンゴ島からバードライフ・フィジーの海鳥調査チームが救出されて僅か数日後、今度はトンガにある IBA が爆発し黒い灰と木の幹を残しただけの荒地になってしまったのです。調査船が沈没した時、バードライフの海鳥調査チームは、フィジーの北ラウ諸島に属する孤島バチュバラ島を IBA に認定するかどうかの評価をしていました。彼らはスバにあるバードライフの事務所がチャーターした別の船に救助されるまで2日間その島に取り残されていました。その僅か2日後、トンガのハンガハアパイ(Hunga Ha'apai)島が海底火山の噴火で破壊されたのです。この島はトンガで最も重要な数種の海鳥の集団繁殖地として、つい先ごろ IBA に認定されたばかりでした。幸い人的被害はありませんでしたが、ハンガ IBA の鳥や野生生物への影響を調査する必要があるでしょう。

南米の草原報告書第9号:南米のコーン諸国(アルゼンチン・チリ・ウルグアイ)の草原を保護するためのイニシャティブである草原同盟が最近発行した報告書が入手できます。このイニシャティブは南部コーンのパンパス地方で最も優れた場所を特定するために IBA の手法を用いています。詳しくはバードライフ・インターナショナルの当該ホームページをご参照下さい。

フォークランドミソサザイの保護行動計画: フォークランド保護協会(フォークランドのパートナー)とフォークランド諸島政府は、固有種であるフォークランドミソサザイ保護のため、種の保護行動計画を作成しました。フォークランドミソサザイ(絶滅危惧Ⅱ類)は外来種であるネズミ、ネコ、キツネなどが侵入していない離島でだけ見られます。次の二つのことが同種の長期にわたる生存できるかどうかに影響します。第1は今後も外来種が侵入するかどうか、第2が同種を適切に管理するための生物学的、環境的な必要事項についての情報不足です。この計画は現在島に生息している個体群が生き残り、生

息地を拡大し、絶滅危惧度を減らす最大限の可能性をもつことを確実にするための集中的で優先順位を定めた活動を定めています。

2009 年度 ザンビアでの水鳥調査： ザンビア鳥学会 (ZOS: ザンビアのパートナー) はアフリカの水鳥調査のザンビアでの活動を完了しました。今年は大雨のために多くの場所に行くことが出来なくなったため調査は困難を極めました。そのような中で 3,000 もの情報が集まり、それにはコシジログモ、シロクロゲリ、エリマキシギなどの観察が含まれます。

文化とカリブの鳥： カリブ諸国で最大の野生生物保護団体 ‘カリブの鳥保護研究協会’ が野鳥にも関係しているカリブの幅広い文化を賞賛する 1 ヶ月間に亘る活動を発表しました。‘文化の中の鳥を祝う’ というテーマでのこの祝祭は、第 8 回年次カリブの固有鳥類フェスティバルとして行われ、4 月 22 日のアースデイに始まり 5 月 22 日の国際生物多様性の日に終わります。今年の祝祭は伝説的なレゲエ・アーティストのロバート・ネスタ・マーレー (ボブ) の ‘3 羽の鳥’ の歌など、鳥に触発されたポップ・カルチャーと、鳥の価値についてのより歴史的な視点の両方に焦点を当てて数多くの機会を提供することにより、カリブの伝統文化の真髄に迫るものです。

詳細はこちら(本部 HP)

http://www.birdlife.org/news/news/2009/04/news_byte_9.html